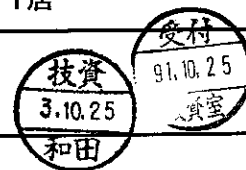


E-ST180系, E-ST181系, E-ST182系, E-ST183系

T店

標 題 トヨタ カリーナEDの定期点検についてのお知らせ



トヨタ カリーナEDのマイナーチェンジに伴い、定期点検に関する点検項目と整備基準値をお知らせします。
なお、本整備編に記載されていない項目については下記資料を参照してください。

整備関係資料

資 料 名	品 番	発 行 年 月
トヨタ新車点検作業要領説明書（乗用車編）	66477	1991年 2 月
トヨタ定期点検作業要領説明書	68550	1983年 7 月
技術連絡書修理編 新定期点検整備方式について	総括4032	1984年12月
トヨタ カリーナED修理書	62315	1989年 9 月
トヨタ カリーナED修理書／追補版	62332	1990年 8 月
トヨタ カリーナED修理書／追補版	62344	1991年 8 月

目

次

ページ

1. 点検整備方式の変更点	2
2. 各部油脂・冷却水と容量	2
3. 定期点検整備基準値	3
4. 定期点検作業要領	6

1. 点検整備方式の変更点

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							点検方法および判定基準	備 考		
			運 行 前	自 家 用			事業用等					毎 の 整 備 千km	交 換 時 期 年毎
				6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎				
制 動 装 置	A B S				○			○			点検方法： アクチュエーターの作動状態の点検： ABS用チェッカーをアクチュエーターに接続し作動を確認する。	自家用の第1回目は36か月に点検	

2. 各部油脂・冷却水と容量

項 目		容 量 (ℓ)			指 定 油 脂
エ ン ジ ン オ イ ル	型 式	オイルのみ 交 換 時	オイルと オイルフィルター 交 換 時	全 容 量	キャッスル・クリーンシンサート (SG)
	4 S-FE	3.7	4.1	4.5	キャッスル・クリーンSG (SG)
	3 S-FE				キャッスル・クリーンエクセレント (SF)
	3 S-GE	3.6	3.9	4.3	キャッスル・クリーンロイヤルII (SE)
					キャッスル・クリーンSEフリート (SE)
冷 却 水	4 S-FE	6.2(M/T), 6.6(A/T)			LLC (キャッスル・ロングライフクーラント)
	3 S-FE				(凍結保証温度 30%.....-12℃)
	3 S-GE	6.0(M/T), 6.5(A/T)	50%.....-35℃)		
マニュアルトランス アクスルオイル (含むディファレンシャル)	S50	2.6			キャッスル・MGギヤオイルスペシャルII
	S52				
	S53				
オートマチック トランスアクスル オ イ ル (含むディファレンシャル)	A140L	5.6(1.6)			キャッスル・オートフルードD-II
	A140E				
パワーステアリング オ イ ル	ポンプ交換時	0.35			キャッスル・パワーステアリングフルード
	総 容 量	0.8			
リヤステアリングギヤハウジング		—			キャッスル・シャシーグリーススペシャル
ク ラ ッ チ フ ル ー ド		—			トヨタブレーキフルード2500H
ブ レ ー キ フ ル ー ド		—			

3. 定期点検整備基準値

エンジン関係

太線の囲みは変更点を示します。

エンジン型式			4S-FE	3S-FE	3S-GE
Vリブドベルト たわみ量 〔押力10kg〕 (mm) ()内は張力(kg)	オルタネーター ベ ル ト	A/Cなし	13~17 (30~45)	←	12~18 (36~62)
		A/Cあり	9~11 (45~55)	←	12.5~15 (30~45)
	P/S ベ ル ト		10~13 (20~35)	←	←
バ ッ テ リ ー 液 比 重 〔液温20℃〕			1.25~1.27	←	←
点 火 時 期 ("BTDC/rpm)	サブ進角なし 〔T端子短絡〕	M/T	8~12/600~700	8~12/650~750	8~12
		A/T	8~12/650~750		
	サブ進角あり 〔T端子開放〕	M/T	8~22/600~700	8~22/650~750	9~23/750~850
		A/T	8~22/650~750		
ア イ ド ル 回 転 数 (rpm)		M/T	無調整式 (600~700)	無調整式 (650~750)	無調整式 (750~850)
		A/T (Nレンジ)	無調整式 (650~750)		
ア イ ド ル C O 濃 度 (%)			1.0以下	←	←
ア イ ド ル H C 濃 度 (ppm)			800以下	←	←
ア イ ド ル バ キ ュ ー ム (-mmHg)			450以上	460以上	400以上
バルブクリアランス (mm) 〔冷間時〕		I N	0.24±0.05	←	0.28±0.05
		E X	0.33±0.05	←	←
圧 縮 圧 力 [250rpm時] (kg/cm ²)		基 準 値	12.5	←	13.5
		限 度	10.0	←	11.0
		気 筒 差	1.0以下	←	←
ス パ ー ク プ ラ グ ギ ャ ッ プ (mm)			1.0~1.3	1.0~1.3	※1
シリンダーヘッド締め付けトルク (kg・cm)			※2	←	←
インテークマニホールド締め付けトルク (kg・cm)			※3	←	←
エキゾーストマニホールド締め付けトルク (kg・cm)			425	500	500
ラジエーターキャップ開弁圧 (kg/cm ²)		基 準 値	0.75~1.05	←	←
		限 度	0.6	←	←

※1. 白金プラグ使用のため点検、調整不要

※2. 塑性域締め付けのため点検不要

※3. メタルガスケット使用のため点検不要

シャシー関係 (1/2)

車 両 型 式		E-ST180・182	E-ST181・183
項 目			
ステアリングホイールの遊び 〔ステアリングホイール外周にて〕 (mm) (PS付きは油圧作動時)		0 ~ 30	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ (mm) 〔1mにつき〕	0 ~ 3	←
	トーイン点検基準値 (mm)	0 ± 2	←
	キャンバー点検基準値(度)	0°00'±45'	←
	キャスター点検基準値(度)	1°00'±45'	←
	キングピンアングル 点検基準値 (度)	14°00'±45'	←
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 (mm)	5 ± 2	2 ± 2
	キャンバー点検基準値(度)	-1°50'±30'	-45'±30'
フロントホイール 左右回転角度	内 側 (度)	36°10'±2°	←
	外 側(参考) (度)	31°10'	←
リヤホイール 左右回転角度	内側・外側 (度)	—	5°±45'
	高 さ 〔フロアパネル上面より〕	157~167 (M/T) 159.4~169.4 (A/T)	←
	遊 び 〔負圧なしの状態〕	3 ~ 6	←
ブレーキペダル (mm)	踏み残りしろ〔踏力50kg〕 〔エンジン ONの状態〕	75 (4S-FEのABS付き車) 80 (4S-FEのABS付き車以外)	←
	レバー引きしろ(ノッチ数) 〔操作力20kg〕	4 ~ 7	←
	ド ラ ム 内 径 (mm)	基 準 値 170.0 限 度 171.0	← ←
パーキングブレーキ	ライニングの厚 さ (mm)	基 準 値 2.0	←
		限 度 1.0	←
	ブレーキの効き 具合	制 動 力	検査時車両重量の20%以上
		操 作 力	50kg以下
ブレーキドラムの内径 (mm)	基 準 値	200.0	←
	限 度	201.0	←

シャシー関係 (2/2)

太線の囲みは変更点を示します。

項 目		車 両 型 式	E-ST180・182	E-ST181・183
ドラムブレーキライニングの厚さ (mm)		基 準 値	4.0	←
		限 度	1.0	←
ディスクブレーキパ ッドの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	10.0	←
		限 度	1.0	←
	後 輪	基 準 値	10.0	←
		限 度	1.0	←
ディスクブレーキロー ターの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	18.0(E-ST180) 25.0(E-ST182)	18.0(E-ST181) 25.0(E-ST183)
		限 度	16.0(E-ST180) 23.0(E-ST182)	16.0(E-ST181) 23.0(E-ST183)
	後 輪	基 準 値	10.0	←
		限 度	9.0	←
ディスクの振れ限度 (mm) 〔外周より10mm内側〕		前 輪	0.07	←
		後 輪	0.15	←
ブレーキの効き具合 (注)前輪のすべての車輪がロッ クし、計測困難な場合は、そ の状態で総和に対して適合 するものとみなす。		制 後 輪 和	軸重の20%以上	
		動 各輪左右差	軸重の 8 %以上	
		力 総 和	検査時車両重量の50%以上	
クラッチペダル (mm)	高 さ 〔フロアパネル上面より〕		153.4～163.4	←
	遊 び 〔ペダル上にて〕		5 ～15	←
	切れ残りストローク		25以上	←
ホイールナットの締め付けトルク (kg・cm)			1050	←
ホイールベアリングハブ軸方向の 動き量 (mm)		前 輪	0.05	←
		後 輪	0.05	←
タ イ ヤ 残 り 溝 (mm)			1.6まで	←
タ イ ヤ 空 気 圧			次ページ参照	

タイヤ空気圧（一般と高速は同一）

タイヤサイズ	空気圧 (kg・cm ²)	前 輪	後 輪
185/65R14 85S		2.2	2.0
195/60R14 85H			

4. 定期点検作業要領

減速時排気ガス減少装置の機能

●フューエルカット装置

エンジン暖機後、インジェクターに指をあててエンジン回転を3500rpm以上まで上げ、スロットルレバーを戻した時、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。